

# 輝く☀️小天っ子

小天小 学校便り  
 第 12 号  
 令和元年6月25日  
 文責:井上 加寿子

## 学びの詰まった3日間、ただいま！

☆5年生が3日間の集団宿泊教室から帰ってきました。行く前に比べ一回り成長を感じます。3校の友達が協力しながら過ごした3日間は、今後の仲間作りにつながるとても貴重な体験でした。改めて力を合わせることの素晴らしさを学んだと思います。

☆中でも水俣学習では、事前の学習を踏まえ、全員が「自分事」として、学んだことや語り部さんの思いを自分と重ねて学ぶ姿がありました。特設した振り返りの時間も多くの発言があり、青少年の家への到着が遅れるほどでした。語り部の緒方正実さんのメッセージ「苦しいでき事や悲しいでき事の中には幸せにつながっているでき事がたくさん含まれている。このことに気づくか気づかないかでその人生は大きく変わっていく。気づくにはひとつだけ条件がある。それは、でき事と正面から向かい合うことである。」から、私自身も学ぶことができました。

☆天水連合小学校の絆が強まり、今後の陸上記録会等の行事や来年度の修学旅行も楽しみです。



水俣で学ぶ  
 水俣から学ぶ



「あなたが大人になり社会の一員となった時にも、今日この資料館で学んだことを、どうか忘れられないでください。みんなが幸せで、美しい環境が広がる未来を、皆さんの手で創造してください。水俣は、あなたを信じています。」



緒方さんの語りに真剣に聴き入る子どもたち。その後の振り返り。↑  
 環境・地球にやさしい買い物を体験→



いざ！  
 芦北の海へ！



↑磯観察で蟹、ヒトデ、シャクをゲット！  
 最後の楽しみ、ローラーリ्यूージュ↓



砂まみれになって、跳びこむ！

